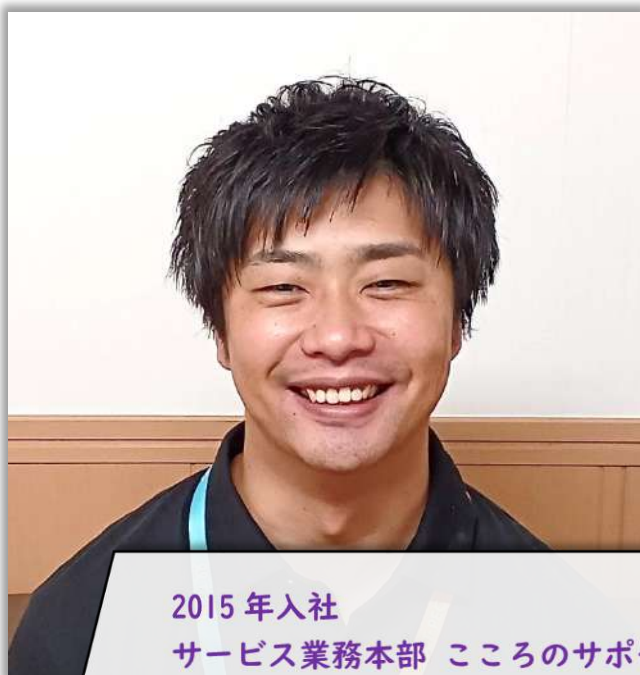


キャリアアデザインコース

(社内公募異動)

営業職から相談職へ

経験を活かしたキャリア形成



2015年入社
サービス業務本部 ころのサポート部
新宿 EAP センター Sさん

仕事内容

各仕事に対する成果

精神保健福祉士として精神科病院や就労支援事業所での経験を積んだ後、メンタル不調の未然予防に取り組むためEAP業界に転職しました。

営業職未経験ながら、精神保健福祉士の資格を活かし、最初は不安もありましたが、次第に営業職で成果を上げ、社長賞を受賞しました。

その後、相談職への異動を希望し、2020年にEAP部門へ異動。公認心理師の資格を取得するための試験を突破し、無事に公認心理師を取得しました。

福祉寄りの資格から心理的支援に広がる分野へと移行し、知識と認識度を高めることで、より幅広い支援ができるようになりました。

仕事に対する

取り組み姿勢

営業職から相談職へ異動し、従業員のメンタルヘルスに関する課題を多くの人事担当者から聞き、サービス提供の意義を感じています。

精神保健福祉士として従業員の声を聞きやすく、契約後に窓口を開け、支援が実現することによりがいを感じています。

営業職時代に築いた相談ルートも、現在のモチベーションに繋がっています。営業経験を活かし、EAPのサービス理解を深め、最近では、「メンタルE」という新サービスの企画に貢献。

営業職時代にサービス内容に関する知識不足を実感し、営業が実際にサービスを体験する重要性を感じています。

今後を含めた

当社でのキャリアの考え

これまで悩みを抱える相談者や罹患した方々への支援を行ってきた経験を活かし、未受診の方々や組織全体へのアプローチにも力を入れたと考えています。

EAPの強みである研修や訪問を通じ、医療や福祉では難しい部分をカバーし、営業職と相談職の架け橋となる役割を果たしたいと意気込みを持っています。

今後は、営業と相談職を経験した強みを活かし、組織運営やスペシャリストの間で新たな仕事を創出し、経験を積んだ人材を育成したり、営業に同行して仕事を進めることに魅力を感じています。